



島根原子力発電所2号機 新規制基準への適合性審査状況他

平成27年2月3日

- ◆ 原子力規制委員会 審判部 32回
- ◆ 原子力規制委員会 審判部 32回
- ◆ 原子力規制委員会 審判部 32回



1. 島根2号機 適合性審査会合状況(1/2)

- ◆ 申請日 平成25年12月25日
- ◆ 審査会合 28回開催(平成27年1月末現在)
- ◆ ヒアリング 地震・津波:25回 プラント:73回

審査会合の状況

審査会合	開催日	会合内容
第 68回	H26年 1月16日	適合性審査に係る申請の概要について
第 73回	1月28日	規制委員会から「申請内容に係る主要な論点」の提示
第 83回	2月20日	発電所敷地周辺 陸域の活断層評価について
第 95回	3月19日	発電所敷地周辺 海域の活断層評価について
第103回	4月 9日	発電所敷地周辺 海域の活断層評価について(コメント回答)
第106回	4月16日	発電所敷地内 地下構造について
第109回	5月 1日	発電所敷地周辺 陸域の活断層評価について(コメント回答) 発電所敷地周辺 海域の活断層評価について(コメント回答)
第121回	6月27日	震源を特定せず策定する地震動について
第125回	7月22日	確率論的リスク評価(PRA)について
第129回	8月 5日	静的機器の単一故障に係る設計について
第133回	8月28日	格納容器フィルタベント系について
第135回	9月 5日	発電所敷地内 地下構造評価について(コメント回答)
第137回	9月11日	格納容器フィルタベント系の運用方法および指摘事項への回答について
第142回	9月30日	確率論的リスク評価(PRA)地震, 津波について
第144回	10月 2日	確率論的リスク評価(PRA)事故シーケンス選定について
第147回	10月14日	重大事故等対策の有効性評価(その1)
第148回	10月16日	重大事故等対策の有効性評価(その2)

1. 島根2号機 適合性審査会合状況(2/2)

審査会合の状況

審査会合	開催日	会合内容
第150回	10月23日	外部火災の影響評価について(その1)
第154回	10月30日	内部溢水の影響評価について
第155回	11月 6日	外部火災の影響評価について(その2)
第159回	11月13日	可搬型重大事故等対処設備保管場所およびアクセスルートについて
第163回	11月20日	重大事故等対策の有効性評価(その3)
第164回	11月21日	発電所敷地内 地下構造評価について(コメント回答)
第168回	12月 4日	内部火災の防護について(その1)
第171回	12月 9日	重大事故等対策の有効性評価(その4)
第182回	H27年 1月15日	重大事故等対策の有効性評価(その5)
第183回	1月16日	発電所敷地周辺 陸域の活断層評価について(コメント回答)
第187回	1月27日	重大事故等対策の有効性評価(その6)

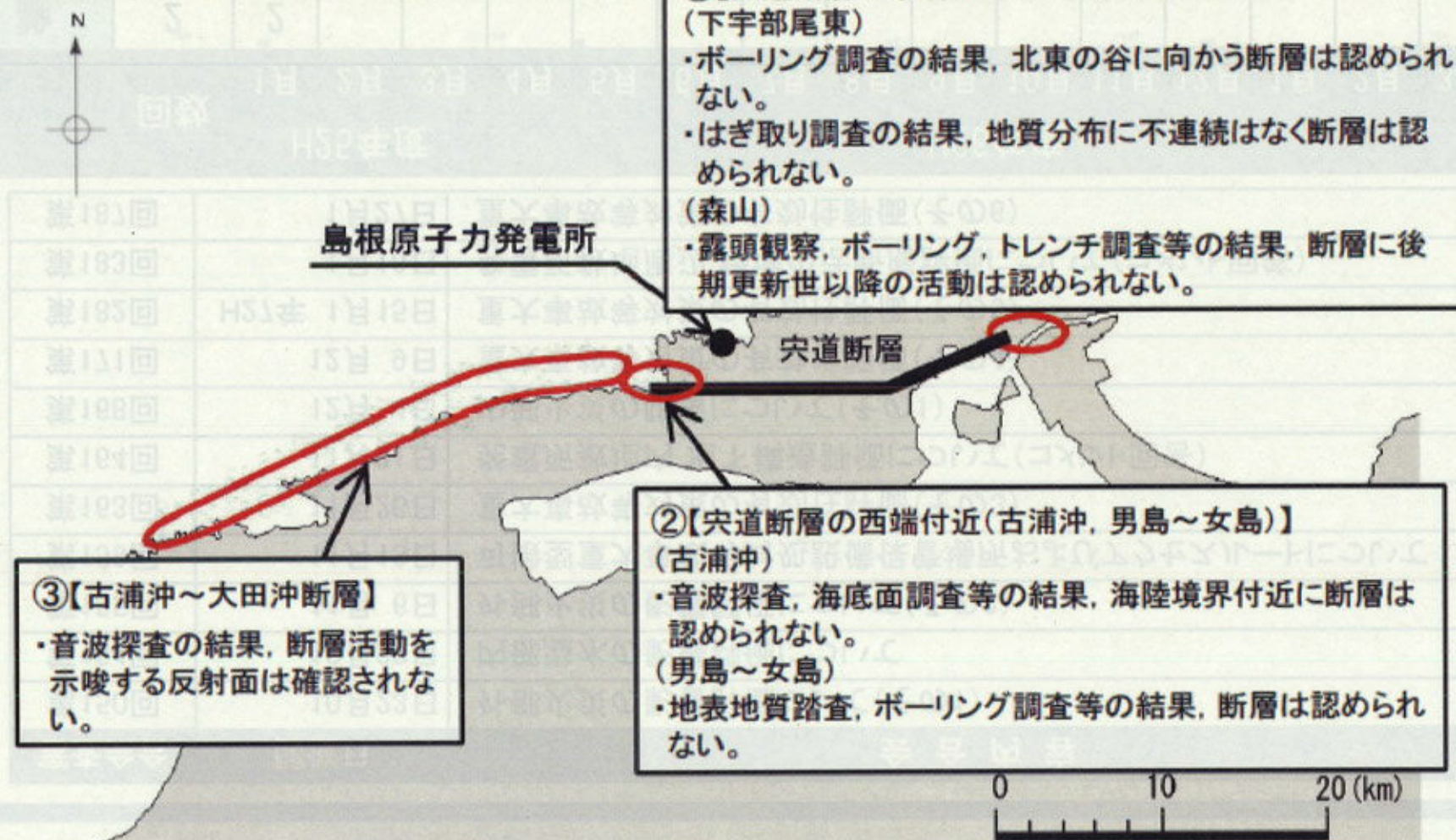
	回数	H25年度			H26年度											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総論	2	2														
地震・津波	9		1	1	2	1	1			1		1		1		
プラント	17							1	2	2	5	3	2	2		
現地調査	(1)												(1)			
計	28*	2	1	1	2	1	1	1	2	3	5	4	2*	3		

*平成26年12月19日の現地調査はカウントせず

2. 宍道断層に係る追加調査結果(概要)

3

- ・審査会合における指摘を踏まえて、データ拡充のための追加調査を実施し、申請中の宍道断層評価長さ(22km)の妥当性を確認した。
- ・今後、原子力規制委員会の審査に適切に対応していくとともに、当社保有データを補強するための自主的調査を継続実施していく。

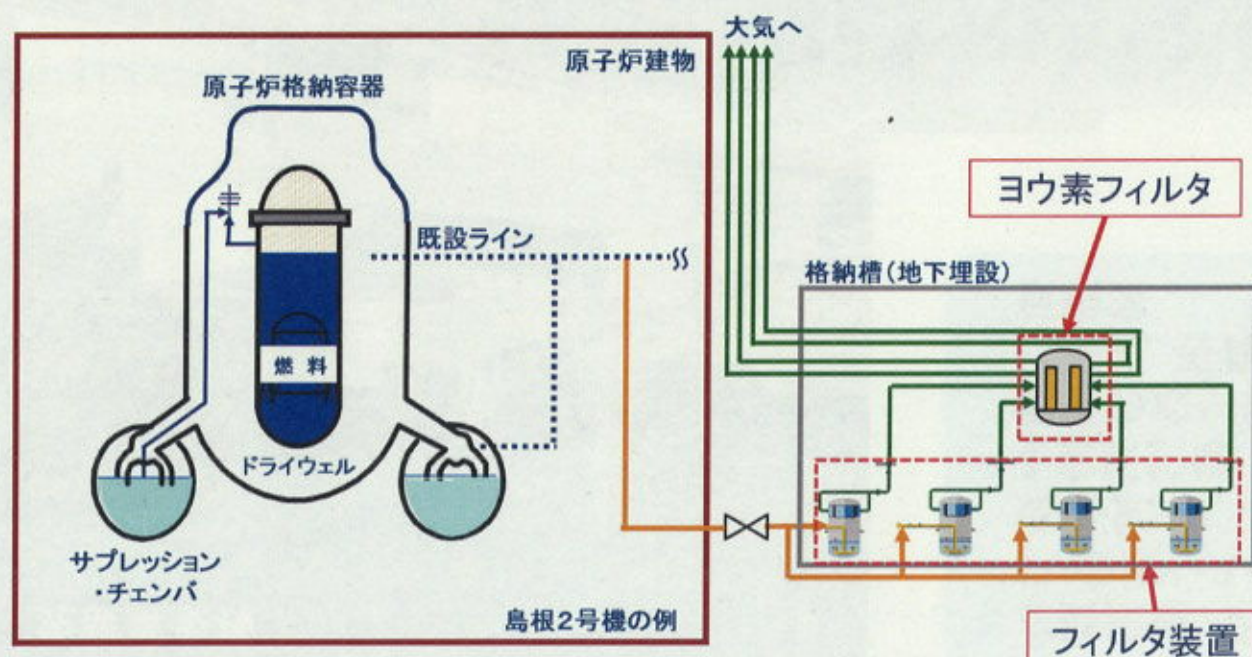


5

3. 安全対策の実施状況(1/4)

- ◆ 炉心が損傷した場合にも、放射性物質の放出を最小限に抑えながら格納容器の破損を防止するため、フィルタ付ベント設備を設置工事中であるが、規制委員会からのコメントを受け、現状の設計では除去が難しい有機ヨウ素の排出抑制策を検討した結果、同設備内へのヨウ素フィルタの追加設置を行うこととした。

- 平成26年8月28日 フィルタ付ベント設備の主要機器であるフィルタの吊り込みを実施。



《ヨウ素フィルタ》* 銀ゼオライト
 ・直径約3m ・高さ約5m
 (除去効率 98%)

《フィルタ装置》
 ・直径約2m ・高さ約8m
 (除去効率 99.9%)

3. 安全対策の実施状況(2/4)

免震重要棟



- 主要設備: プラント監視設備, 通信連絡設備, TV会議システム専用電源設備, 専用電源用燃料タンク, 水タンク, 放射性物質を低減する空調設備, 汚染の持ち込みを防止する区画等の放射線管理設備, 対策要員の収容スペース, 要員の長期滞在を考慮した休憩室・仮眠室。

- 万一の事故発生時の対応に, より万全を期すため, 緊急時対策機能を有する免震構造の建物(免震重要棟)を, 発電所構内の高台(50m)に建設。(平成26年10月31日建設工事終了)

緊急対策所内部

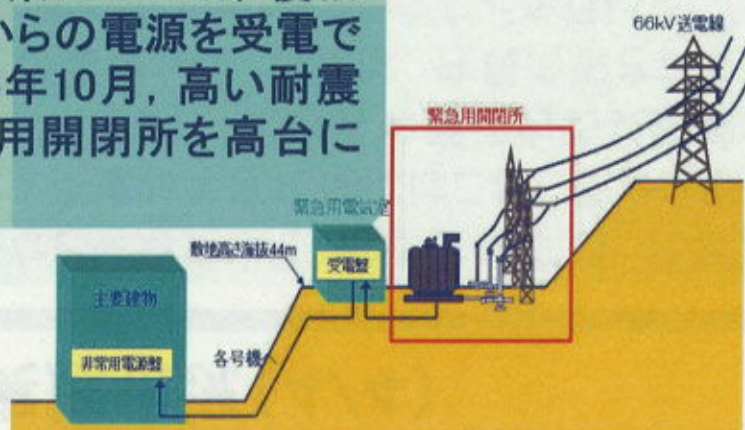


代替電源設備(ガスタービン発電機車)の配備



- 重大事故等対策として、原子炉や燃料プールを冷やすために必要な電源を確保する対策として、平成26年10月、海拔44mの高台にガスタービン発電機車(4,000kVA)×4台を配備。

- 地震などの災害により送電設備が被害を受けても早い段階で復旧が見込まれる66kV系について、復旧後、直ちに外部からの電源を受電できるように、平成26年10月、高い耐震性を有する緊急用開閉所を高台に設置。



66kV受電設備の強化



3. 安全対策の実施状況(4/4)

- 全交流電源喪失などを想定した、電源供給訓練、代替注水訓練、通報連絡訓練等を繰り返し行っています。平成26年度上期にはこれら様々な訓練を約60回実施しました。
- 平成26年10月18日、島根県・鳥取県の原子力防災訓練が行われ、避難訓練や緊急時モニタリング訓練などが実施され、当社は、住民の皆さまの避難訓練において、放射性物質による汚染の有無を調べるスクリーニングなどを行いました。



H26.9.26 ▲ 通報訓練 ▼ 電源供給訓練



H26.9.10 放水訓練



H26.10.18 車両スクリーニングの様子

4. 島根2号炉 現地調査概要

- 日時：平成26年12月19日(金) 9:30～16:30
- 目的：島根2号炉が新規制基準に適合しているか否かを原子力規制委員会が現地で直接確認するもの
- 対象：プラント(機械・電気)関連対策
- 調査実施メンバー
：更田委員長代理, 櫻田原子力規制部長, 山形安全規制管理官, 審査チーム(Dチーム)ほか 計25名
- 内容：設計基準事故(DBA)および重大事故(SA)対策等について, 3班(更田委員長代理班, DBA班, SA班)に分かれ, 規制委員会ポイントに従い, 主要なDBA, SA対処設備等の対応状況を確認

